

江別市立病院

所属メンバー

- ・梶井 直文 (院長、昭和 51 年卒)
- ・信太 知 (主任部長、昭和 59 年卒)
- ・板倉 治 (部長、昭和 61 年卒)
- ・越 和子 (部長、昭和 49 年卒)
- ・帯金 克行 (部長、平成 7 年卒)
- ・渡辺 美紀 (非常勤医、毎週木曜日外来担当、平成 9 年卒) 非医会員

卒後臨床研修医

1 名 (単独型初期研修医 2 年目)

専門外来

- ・神経・発達外来 (梶井、×4/月)
- ・肥満・夜尿外来 (梶井、×4/月)
- ・心臓外来 (信太、×4/月)
- ・腎臓外来 (帯金、×4/月)
- ・血液外来 (長 祐子、×1/2 月)

江別市立病院

病院全体の医師数	37人 (うち非常勤 5人)
小児科医師数	6人 (うち非常勤 1人)

病院全体の病床数	337床
小児科病床数(NICU、ベビーを除く)	24床
NICU病床数	0床
新生児病床数(NICUを除く)	0床

NICU としての認定 なし

平均小児科外来数	69.7人/日
平均時間外外来数	3.1人/日 (小児科医が診察したものです)

年間入院患者数	786人/年
年間のべ入院患者数	4,226人/年 (入院患者数×入院日数)
年間時間外入院患者数	223人/年

年間分娩数	0人/年
年間低出生体重児(2,500g未満)数	0人/年
極低出生体重児(1,500g未満)数	0人/年
年間呼吸管理患者数	0人/年

論文・著書など

1. 梶井直文、山田隆司: Genaralist は地域医療再生の切り札となるか. Medical Tribune: 48-49, 2008/11/13
2. 信太 知: MRワクチン (今どきの養生ばなし). 広報えべつ 2009年1月号

学会発表

全国学会

1. 越 和子: ウイルソン病兄弟例における長期内科的治療と今後の課題ー銅代謝の指標をめぐってー. 第12回ウイルソン病研究会、東京、2008/5/10
2. 越 和子: ウイルソン病2兄弟の長期内科的治療における銅代謝の指標と今後の課題. 第50回日本先天代謝異常学会、米子、2008/11/8

地方学会

1. 帯金克行、越 和子、板倉 治、信太 知、梶井直文: 興味深い腹部CT所見を呈した2例. 江別小児科医会研修会、江別市、2008/10/22
2. 越 和子: ウイルソン病2兄弟例における長期内科的治療と今後の課題. 第14回北海道肝移植適応研究会、札幌市、2008/11/15
3. 信太 知: 細菌性髄膜炎について. 第28回青水会研修会、札幌市、2008/11/26
4. 梶井直文: 小児科外来からみる子どもの心～小児心身症を中心に～. 江別市PTA連合会研究大会、江別市、2008/11/29
5. 岩田啓芳、帯金克行、越 和子、板倉 治、信太 知、梶井直文: 運動後急性腎不全をきたした16歳男児例. 江別小児科医会研修会、江別市、2009/3/11

その他社会貢献など

1. 江別市学校医: 梶井、信太、板倉、越、帯金
2. 江別市保育園医: 信太、板倉、越、帯金
3. 江別市児童福祉施設嘱託医: 梶井、信太、板倉、越、帯金
4. 江別市心臓検診判定委員: 信太
5. 江別市教育委員会就学判定委員会副委員長: 梶井

6. 江別市乳幼児健康診査担当医：梶井、信太、板倉、帯金
7. 江別市予防接種健康被害調査委員会委員：板倉
8. 江別市教育委員会結核対策委員会委員：板倉